

『生活面の指導』

1 生活しやすい環境を作る

* わかりやすい生活の流れ

<ex. 靴箱⇨教室⇨朝の活動⇨着替え 決まったことの繰り返し>

* 目でみてわかるような提示



朝の仕事

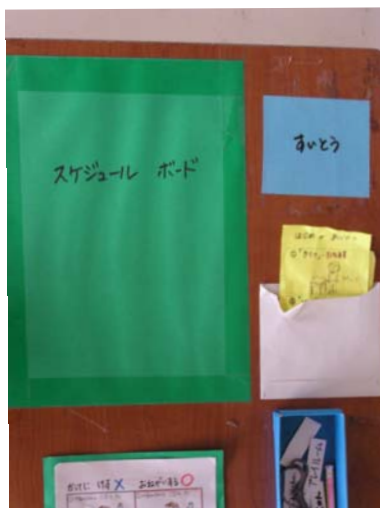
水筒・連絡帳・給食袋・靴・上着などの場所を絵や写真でわかりやすく



着替え

座る位置を提示

脱いだ服と着る服のカゴを分ける



机の上の環境整理

水筒

スケジュールボード
などを置く位置をわかりやすくする



箱の中にどのような教材が入っているのか写真でわかりやすくする

2 スケジュールを伝える

①何によって示すか

具体物

絵カード・写真カード

絵と文字の組み合わせ

文字カード（単語）

文章



②スケジュールの長さ

次のことだけ

2個／3個／いくつか〜

半日

全日

1週間以上



宿泊学習



遠足

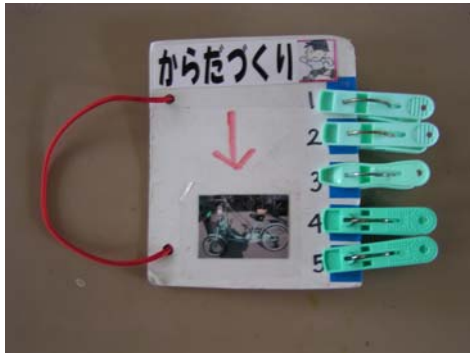


3 見通しとスキルアップ



課題学習

どのような課題（内容・量）を
どのような順番で行うのかを伝えて
いる。



からだづくり

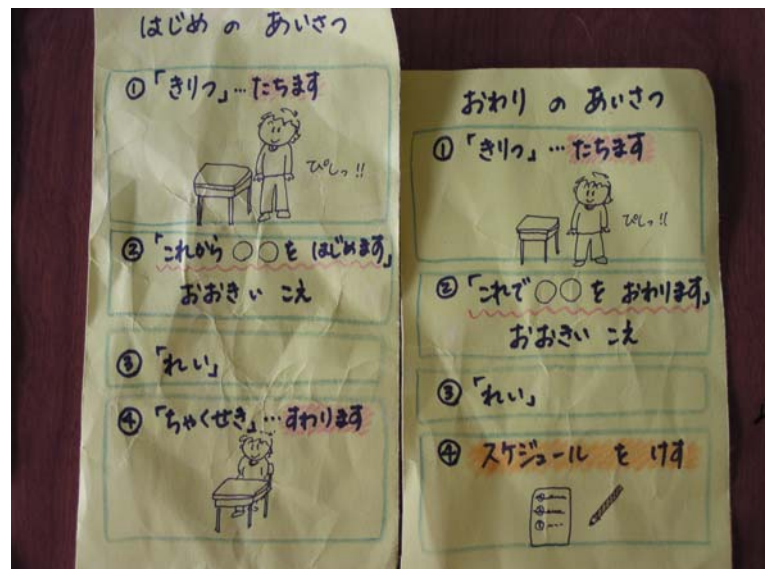
回数の見通し

（一周走るごとに洗濯ばさみをはずす）
終わると自転車遊びが待っていることを
伝えている。



ソーシャルスキル

ラジカセを勝手に消さないで、こうす
ればいいよ！



あいさつのスキル

順序をおって提示

イラストを入れてわかりやすく

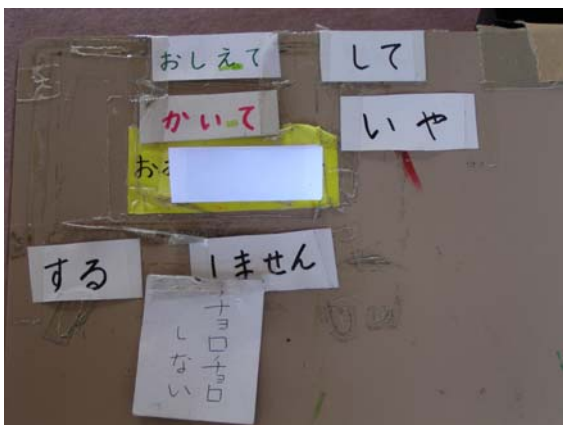
4 コミュニケーションの手段として



学校で何をして遊びたいか？
写真の中から場所や乗り物を選び伝えることができる。
次はどこの教室だよと伝えたり、理解できたりする。



家に帰った時、どこに行きたいか
お家の人と話ができる。



机の片隅にコミュニケーション
カードがセッティングされている。

ことばでのコミュニケーションが難しい子どもたちの中には、身振りやサインでお話しをしている子ども達もいます。身振りやサインの中には、手話やマカトン法、大淀養護学校の生活の中で独自に作られていったもの、ひとりひとりの子どもに応じて作られていったものなどがあります。人と伝え合う手段としてこれらのサインはとても大切なことばのかわりとなるものです。〈日頃よく使っているサインです。—マカトン法から—〉

